

1 概 況

令和元年平均佐賀市消費者物価指数は、平成27年を100とした総合指数で102.1となり、前年に比べ(+) 0.3% の上昇となった。

なお、総合指数は、平成19年は下落、平成20年は上昇したものの、平成21年から平成24年は下落、平成25年から再び上昇となった。

(1) この1年間における総合指数の動きを月別に前年同月比で見ると、1月は電気代、自動車等関係費などの値上がりにより(+) 0.3% の上昇、2月は電気代、設備修繕・維持などの値上がりにより(+) 0.1% の上昇、3月は電気代、菓子類などの値上がりにより(+) 0.2% の上昇、4月は電気代、菓子類などの値上がりにより(+) 0.3% の上昇、5月は電気代、家庭用耐久財などの値上がりにより(+) 0.3% の上昇、6月は魚介類、菓子類などの値上がりにより(+) 0.1% の上昇、7月は書籍・他の印刷物、電気代などの値上がりにより(+) 0.1% の上昇、8月は通信、野菜・海藻などの値下がりにより(-) 0.2% の下落、9月は外食、菓子類などの値上がりにより(+) 0.2% の上昇、10月は設備修繕・維持、外食などの値上がりにより(+) 0.8% の上昇、11月は設備修繕・維持、教養娯楽用品などの値上がりにより(+) 0.8% の上昇、12月は設備修繕・維持、教養娯楽サービスなどの値上がりにより(+) 0.9% の上昇となった。

(2) 10大費目指数の動きを前年比で見ると、「食料」は外食、菓子類などの値上がりにより(+) 0.1% 、「住居」は設備修繕・維持の値上がりにより(+) 0.2% 、「光熱・水道」は電気代、ガス代などの値上がりにより(+) 1.7% 、「家具・家事用品」は家庭用耐久財、寝具類などの値上がりにより(+) 0.4% 、「被服及び履物」はシャツ・セーター類、履物類などの値下がりにより(-) 0.1% 、「保健医療」は保健医療サービス、医薬品・健康保持用摂取品の値上がりにより(+) 0.6% 、「交通・通信」は通信の値下がりにより(-) 0.9% 、「教育」は補習教育、教科書・学習参考教材の値上がりにより(+) 0.8% 、「教養娯楽」は教養娯楽用品、書籍・他の印刷物などの値上がりにより(+) 2.1% 、「諸雑費」は他の諸雑費の値下がりにより(-) 0.1% となった。

(3) 近年の総合指数の動き(前年比)

| | |
|----------|--|
| 平成24年・・・ | 調理食品、電気代、自動車等関係費などの値上がりはあったものの、家賃、教養娯楽用耐久財などの値下がりにより(-) 0.1% の下落。 |
| 平成25年・・・ | 家賃、肉類などの値下がりがあったものの、自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) 0.2% の上昇。 |
| 平成26年・・・ | 果物などの値下がりがあったものの、魚介類、電気代などの値上がりにより(+) 2.5% の上昇。 |
| 平成27年・・・ | 他の光熱、自動車等関係費などの値下がりがあったものの、履物類、果物などの値上がりにより(+) 0.9% の上昇。 |
| 平成28年・・・ | 自動車等関係費、電気代などの値下がりがあったものの、設備修繕・維持、野菜・海藻などの値上がりにより(+) 0.2% の上昇。 |
| 平成29年・・・ | 通信、野菜・海藻などの値下がりがあったものの、自動車等関係費、電気代などの値上がりにより(+) 0.4% の上昇。 |
| 平成30年・・・ | 通信、家賃などの値下がりがあったものの、自動車等関係費、野菜・海藻などの値上がりにより(+) 1.1% の上昇。 |
| 令和元年・・・ | 野菜・海藻、通信などの値下がりがあったものの、設備修繕・維持、電気代などの値上がりにより(+) 0.3% の上昇。 |